

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	農業	科目	生物活用	単位数	2	学年・学科	3学年・B科
教科書	実教出版「生物活用」		副教材				

学習目標	○主に草花の園芸作物の活用に必要な知識と技術を身に付けます。 ○園芸作物や農業によって生活の質を向上させ、健康の改善を図る能力と態度を育みます。
学習方法	○生物活用のうち主に花装飾に使用する園芸作物の特性や使用方法を学習します。 ○花壇やアレンジメントのデザインを行い、実践に生かし、ハンギングバスケット等の花装飾について学習します。 ○作物・園芸植物や社会動物によって生活の質を図り、現代人の幸福につなげることについて学習します。

学習評価	評価の観点	評価の観点の趣旨	重み付け						
			100%	50%	50%				
学習評価	a 知識・技能 (専門教科は知識・技術)	園芸作物や動物に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、その意義や役割を理解している。草花をはじめとする園芸作物等に関する基礎的・基本的な技術に関わり、その技術を適切に活用している。	前期中間	知識・技能(技術)	40%	20%	20%		
			前期中間	思考・判断・表現	30%	15%	15%		
				主体的に学習に取り組む態度	30%	15%	15%		
			b 思考・判断・表現	草花をはじめとする園芸作物等に関する項目の諸課題を解決を図り、生産利用について適切に判断し、表現する能力を身につけている。	前期末	知識・技能(技術)	40%	20%	20%
					前期末	思考・判断・表現	30%	15%	15%
						主体的に学習に取り組む態度	30%	15%	15%
	c 主体的に学習に取り組む態度	生物の活用に関する諸課題について興味・関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に学習に取り組もうとする態度を身につけている。			後期中間	知識・技能(技術)	40%	20%	20%
					後期中間	思考・判断・表現	30%	15%	15%
						主体的に学習に取り組む態度	30%	15%	15%
			後期末	知識・技能(技術)	40%	20%	20%		
				思考・判断・表現	30%	15%	15%		
			主体的に学習に取り組む態度	30%	15%	15%			

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	第1章 生物活用の意義と役割 第2章 園芸作物の栽培と活用	・生物活用について役割を理解します。 ・本校にある春花苗を教材として春の花について特性を理解します。 ・花壇の活用と管理について理解し、デザインを考えます。 ・フラワーデザインの基本について理解し、一般管理を行います。	○	○	○	c:生物活用の大切さと利用について興味関心を持ち、探求しようとしている。 a:花壇用草花等の栽培を意欲的に行い、植え付けや施肥等ができる。 a:花壇のデザインや、園芸作物の基礎についての知識を身につけている。 b:花材を的確に選び花壇のデザインを考えることができる。 a:フラワーアレンジメントの基本を理解して、基本的な技術を習得している。	・出席状況 ・行動観察 ・授業ノート ・授業プリント ・定期考査
前期末	第2章 園芸作物の栽培と活用	・植物や園芸がもたらす効果について学びます。 ・植物や園芸の活用の特徴について学びます。 ・花壇の活用と管理について実践して学びます。 ・フラワーアレンジメントについて、実践学習を行います。	○	○	○	c:植物や園芸の学習について関心を持ち、探求しようとする態度がみられる。 a:植物や園芸の活用の特徴を理解し活用場面と目的について理解を深めることができる。 a:花壇の管理について基礎的な知識や技術を身につけている。 b:管理の実際について効果を理解し表現できる。 b:フラワーアレンジメントについて創造的な表現ができる。	・出席状況 ・行動観察 ・授業ノート ・授業プリント ・定期考査
後期中間	第2章 園芸作物の栽培と活用 第4章 生物を活用した療法	・園芸作物の管理について理解します。 ・バリアフリーとユニバーサルデザインの要点を理解します。 ・園芸療法について特徴や生活利用について学びます。	○	○	○	a:園芸作物等についての基礎知識をもとに植物を扱う際の留意点についての知識を身につけている。 c:バリアフリーとユニバーサルデザインの考え方について学ぶ意欲がある。 a:園芸の活用に関して役割や注意点を理解している。 b:その活用方法について計画できる。	・出席状況 ・行動観察 ・授業ノート ・授業プリント ・定期考査
後期末	第2章 園芸作物の栽培と活用 (まとめ) 第3章 動物の飼育と活用	・生物活用における、生活での利用等を学習します。 ・リース制作を行い、装飾の学習を行います。 ・動物の種類や効果にふれ、理解を図ります。	○	○	○	b, c: 生物の活用に関して意欲的に取り組み、活動計画の立案ができる。 b: 花装飾について体験的に実施できる。 a: 園芸療法についての知識を身につけている。 c: 動物の活用について興味関心を持ち、意欲的に学習している。 a: 動物についての知識を身につけている。	・出席状況 ・行動観察 ・授業ノート ・授業プリント ・定期考査